

令和6年度後期 授業改善のためのアンケート集計表(大学院)

大学院集計

対象人数 92 人

設問		選択肢	よくあった	ある程度あった	あまりなかった	なかった	
問1	授業内容の「意義や必要性」について十分に説明され、さらに学びたいと意欲がわくものであった。	回答数	56	31	5	0	
		%	60.9%	33.7%	5.4%	0.0%	
問2	理解しやすいように、資料や機器の利用、活動環境設定、コメント提供などに工夫のある「教え方」が展開された。	回答数	55	34	1	2	
		%	59.8%	37.0%	1.1%	2.2%	
問3	予習・復習などの自主学習や、小テスト・レポート等の課題について、授業やシラバスで指示があった。	回答数	65	20	6	1	
		%	70.7%	21.7%	6.5%	1.1%	
問4	教員から意見が求められたり、グループ・ディスカッションを行ったりするなど、質疑応答の機会があった。	回答数	63	24	4	1	
		%	68.5%	26.1%	4.3%	1.1%	
問5	シラバスに掲げる授業目標から考えると、自分は「目標を概ね達成したレベル」を越え、より優れて学んでいると感じる機会があった。	回答数	38	42	7	5	
		%	41.3%	45.7%	7.6%	5.4%	
設問		選択肢	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
問6	授業のなかで提示された専門的知識を、体系的に、また他の分野や事象とも関連づけながら理解できた。	回答数	43	41	7	1	0
		%	46.7%	44.6%	7.6%	1.1%	0.0%
問7	授業を通して、論理的思考力や課題探求力など、今後の社会生活や職業生活において重要と考えられる汎用的な能力を高めることができた。	回答数	46	36	9	1	0
		%	50.0%	39.1%	9.8%	1.1%	0.0%
問8	授業の内容への関心を高め、関連する資料や参考文献、事項や事象を自ら調べるなどの行動を取った。	回答数	41	37	10	3	1
		%	44.6%	40.2%	10.9%	3.3%	1.1%